

中央鉱山保安協議会 議事要旨

1. 日 時：令和3年1月26日（火）15：00～16：15

2. 場 所：オンライン会議（Skype 使用）

3. 出席者：

（学識経験者代表）

福井委員（会長）、田中委員、所委員、五十嵐委員、笹木委員

（鉱業権者代表）

松本委員、川谷委員、安藤委員、下田委員、中村委員

（鉱山労働者代表）

上野委員、浄土委員、小嶋委員

※新谷委員と古谷委員は欠席（古谷委員は代理が出席）

4. 議題：

【審議事項】

（1）粉じん規制制度の見直し

（2）鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令、同技術指針の見直し

【報告事項】

（3）眼の水晶体に係る放射線防護規則の見直し

（4）第13次鉱業労働災害防止計画の実施状況

（5）「特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する基本方針（第5次基本方針）」に係る取組

（6）休廃止鉱山インフラのレジリエンス強化の状況

（7）石炭じん肺訴訟の現状

（8）新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた鉱山保安分野での取組

（9）令和3年度鉱山保安関係予算案

5. 議事概要

会議冒頭、福井委員が、協議会長として選任された。

（1）粉じん規制制度の見直し

- 事務局から、粉じん規制制度の見直しについて説明。
- 各委員により質疑等が行われた後、内容について了承された。

（委員からの主な意見）

- 現場の現状に鑑みて無理のない内容であり、特段の問題なし。

(2) 鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令、同技術指針の見直し

- 事務局から、鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令の一部を改正する省令等について説明。
- 各委員により質疑等が行われた後、内容について了承された。

(委員からの主な意見)

- 現場の現状に鑑みて無理のない内容であり、特段の問題なし。

(3) 眼の水晶体に係る放射線防護規則の見直し

- 事務局から、眼の水晶体に係る放射線防護規制の見直しについて説明。

(4) 第13次鉱業労働災害防止計画の実施状況について

- 事務局から、第13次鉱業労働災害防止計画の実施状況について説明。

(委員からの主な意見)

- 作業員の高齢化等、統計的分析だけでは埋もれてしまう潜在的な事故要因について、今後の検討において注意すべき。
- 安全性を確保するにあたり、鉱山労働者に対して、留意すべきポイントを明確に伝えることが大切。

(5) 「特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する基本方針（第5次基本方針）」に係る取組

- 事務局から、「特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する基本方針（第5次基本方針）」に係る取組について説明。

(委員からの主な意見)

- コスト削減効果のある技術導入や脆弱化対策に対して、必要な予算を今後も確保できるようにすべき。

(6) 休廃止鉱山インフラのレジリエンス強化の状況

- 事務局から、休廃止鉱山インフラレジリエンス強化の状況について説明。
- 続いて日本鉱業協会から、休廃止鉱山インフラレジリエンス強化の対応についての取り組み状況と今後の課題について説明。

(7) 石炭じん肺訴訟の現状について

- 事務局から、石炭じん肺訴訟の現状について説明。

(8) 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた鉱山保安分野での取組

- 事務局から、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた鉱山保安分野での取り組みについて説明。

(9) 令和3年度鉱山保安関係予算案について

- 事務局から、令和3年度鉱山保安関係予算案について説明。

問合せ先
経済産業省 産業保安グループ
鉱山・火薬類監理官付
電話：03-3501-1870
FAX：03-3501-6565